

遺伝カウンセリング コース

大学院
新コース

室伏 きみ子 (理事・副学長)

本学では、平成16年度の文部科学省・科学技術振興調整費の支援を得て、「特設・遺伝カウンセリングコース」を開設しました。このコースでは、「遺伝カウンセリング」という新しい学際領域に貢献する、先駆的な人材「遺伝カウンセラー」を養成することをめざしています。遺伝カウンセラーは、遺伝性疾患や先天異常等に関わるカウンセリングを専門とする職業で、既に欧米では広く活躍していますが、わが国ではまだ認知された職業とはなっていません。しかしヒトゲノムの解読がほぼ終了した現在、疾患と遺伝子の関係が次々と明らかにされて、遺伝医療の著しい発展は、社会における遺伝カウンセラーに対するニーズを、日毎に増大させています。

医師とクライアントの間に立ち、高い知識とカウンセリング技術を提供できる「非医師」の遺伝カウンセラーを養成し、日本の遺伝カウンセリング領域のリーダーを育てることをめざして、コース担当の教職員はたゆまぬ努力を続けています。



「互学互教」と「社会学連携」による

「知の市場」を求めて

化学・生物総合管理の再教育講座

ライフワールド・ウォッチセンター長 増田 優

ライフワールド・ウォッチセンターでは、平成16年度より「化学・生物総合管理の再教育講座」を開催しております。本講座は、現代社会をよりよく理解する教養を涵養することを目指して、化学物質や生物によるリスクの評価・管理、そして技術革新及びその社会・生活との係りなどについて、自己研鑽をつむ機会を提供することを目的にしています。「互学互教」と「社会学連携」を旗印に、平成16年度後期は多様な連携機関（専門機関・学会、NGO・NPO、マスメディア、企業、行政など）から100人近くの講師陣を迎え、15科目（1科目は90分の講義15回）を開講し、社会人を中心に331人（延約5,000人）の受講者を得ました。平成17年度は、さらに消費者団体や地方自治体なども連携の輪に加え、前期28科目、後期23科目を開講予定です。そのうち45科目がお茶の水女子大学の学生に向けた単位認定の対象となります。社会人のみならず学生の参画に大いに期待します。この講座を通じ、大学と社会の連携により新しい何かが間違いなく生まれはじめ、大学が「知の市場」として展開しつつあります。



社会人
リカレント